

令和5（2023）年度 第1回四万十町立図書館協議会 会議録（要旨）

日 時：令和5年5月26日（金） 10時00分～12時00分

場 所：四万十町役場東庁舎2階町民活動支援室

出席委員：竹村君子、刈谷明子、小橋匠、金子仁

欠席委員：武内文治

事務局：味元課長（生涯学習課）、大河原館長、中村副館長、富永主査（生涯学習課）、谷脇（図書館）須藤（図書館）、長木（図書館）

文化的施設整備推進室：大元政策監、西尾次長、嶋岡主任

【議事次第】

1. 開会
2. 挨拶
3. 報告
4. 協議事項
 - (1) 令和5（2023）年度 事業計画について
 - (2) 文化的施設整備推進事業について
5. その他
6. 閉会

【会議要旨】

1. 開会
2. 挨拶
3. 報告
3. (1) 令和4（2022）年度の事業報告等について

- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度事業の評価
- ・移動図書館車の運行について

（事務局）

資料：令和5（2023）年度 四万十町立図書館 要覧 より報告。

【質疑応答】

（刈谷委員）

P9 相互貸借は大正分館が活発だが、この数値は高いほうがよいのか、低いほうが良いのか。

（大河原館長）

相互貸借は、図書館に所蔵がない場合に手配するサービス。求められた本を購入し提供する場合もある。バランスが取れたほうが良いが、数値については図書館の規模にもより、どちらともいえない。

(事務局)

リクエストすべてを購入することは難しい。購入したものは522冊。昨年度の470冊より多くなった。リクエストを受けたら積極的に購入もしている。購入と相互の数値をあわせてみていただきたい。

(金子委員)

p 8に増加冊数の記載があるが、廃棄した本の数値がない。図書館の新陳代謝がわかるように数値があると良い。

(大河原館長)

実際に除籍はしているが、数値として載せていない。今後は載せる方が良い。

(刈谷委員)

新しい取り組みを行っている。ほかの他団体との連携もあるが、新しい人と関わることで取り組みが広がっている実感はあるか。

(事務局)

いろいろな方に幅広く本を手にとってもらうことができた。連続講座で開催した「絵本を手話で」については、赤ちゃん向けの絵本『おつきさまこんばんは』を手話で行った。表現として手話を行い、学ぶことができた。講師から高知県内でも初めての取り組みであり、継続してできればとお声をいただいた。

ほか、出前図書館などで講座の内容についての本が手に取れるという声あり、出て行った意味があったかと思っている。

(竹村会長)

毎年伝統的によく活動されていると思う。

(刈谷委員)

カリコレについて、サテライト先が検討していたが断られた理由は。

(大河原館長)

実際に使うことを想定したが、使い切れないという理由から。実際に使う人が難しいとなり見合わせとなった。

(刈谷委員)

移動図書館車をよってこい四万十、わいわい広場を見たが、ブース賑わっていた。日常で本に触れられる。本がある場所と認識されて住民に溶け込んでいると思った。

(竹村会長)

移動図書館車の本の量がまとまっていて、選びやすくてよい。

(刈谷委員)

図書館が遠い地域だけでなく身近にある地域にも巡回しているが、利用のしかたとして使い分けはされているのか。

(大河原館長)

使いにくいところに移動図書館車が行くという考えではあるが、子ども教室があるところなど調整していて、身近にあるところを外すということにならない。近いといえ、子どもたちは大人に図

書館に連れて行ってもらうことにもなる。こちらから生活時間に入って行く。接点として良かったと思っている。

(刈谷委員)

生活時間のなかに移動図書館車が来ることで、日常的に図書館に行っていない子が初めて選ぶ本が、移動図書館車の本。スタートとして入りやすいのでは。

4 協議事項

(1) 令和5(2023)年度 事業計画について

資料：令和5年度第1回図書館協議会参考資料(令和5年5月26日)

令和5(2023)年度四万十町立図書館 要覧

【質疑応答】

(刈谷委員)

シルバー人材センターの委託をやめたということだが、職員業務ひっ迫してないか。

(大河原館長)

窓口業務として3人来ていただいていた。移動図書館車も増え、予算が増えるばかりでは難しい。人数としてはプラマイゼロ。委託だと業務が限定的になることもあり、図書館職員が全体を回したらという考えはあった。

(小橋委員)

図書館の充実については生涯読書の会でもあったが、これからどういう考えか。

(大河原館長)

文化的施設の開館に向け増額していく。開館して全体の75%の蔵書にしようと思っている。今年度、来年度増額。開館後は800万円程度を想定している。

(竹村委員)

75%だと、何冊か。

(大河原館長)

約5万数千冊。今あるものをすべて並べても足りない。

(刈谷委員)

開館後に減らされないよう維持してほしい。

(金子委員)

以前の予算、400万円から増えた。減らされないように。

(大河原館長)

事業計画については承認いただけるか。

(図書館協議会委員)

承認。

4 協議事項

(2) 文化的施設整備推進事業について

資料：文化施設整備事業「美術館運営審議会」「図書館協議会」次第

【質疑応答】

※選定委員に図書館協議会より1名出ることについて承認。

(竹村会長)

募集期間短いのではないか。

(文化的施設)

募集期間は長くしたいと思っている。参考としてほかの自治体は1か月。

(刈谷委員)

四万十町にゆかりのあることについては応募で確認しないのか。

(文化的施設)

どういったゆかりがあるのか記載してもらう。

(小橋委員)

ゆかりについては、四万十町に住んでいなくても働いていたらゆかりとなるか。

(文化的施設)

ゆかりとなる。ゆかりのある人、四万十町の人が愛称をつけたほうが、愛着が出るのではないか。

(竹村会長)

④案がよい。ふるさと納税の人に呼び掛けるくらいにしてはどうか。お礼の意味も込めて。四万十川に全国から来たい人、いつか来たいと思っている人はゆかりを持とうとしている。ゆかりの説明を丁寧にしてほしい。

(金子委員)

応募はできるだけ多いほうが良い。いつか来たい人にもアピールし四万十町とつながるようにしてほしい。文化的施設ができるというアピールにもなる。応募資格は「高知県在住」「誰でも」まで広げてはどうか。

(文化的施設)

ゆかりという言葉を使用するかも検討。

○応募点数

(竹村会長)

応募点数は3点以内？

(中村副館長)

4点以上応募は全て失格か。

(文化的施設)

3点以内。4点以上は順番がわからないため全て失格。

○賞金

(金子委員)

賞金だけか。

(刈谷委員)

賞金について高校生以下は現金でなく図書カードとなるか。

(小橋委員)

応募意欲出すため、賞4人以外にもなにかあればよいのでは。

(竹村会長)

優秀賞は ①案はプラス賞品があるのか。

(金子委員)

全国に住んでいる四万十町に興味のある人、町外の人を選ばれたら鮎をつけては。

(文化的施設)

図書カードのしぼりなどなく、自由に使えるよう賞金を渡したい。①案は賞金もしくは賞品。②案は賞金プラス賞品。四万十市は賞金プラス天然アユなども追加していたが、参考にする。予算、限られたなかで行う。直接文化的施設や図書館協議会事務局に思いついたことをお知らせください。

○選定方法

(刈谷委員)

多数決か

(文化的施設)

多数決である。高学年(小学生)が選ぶことが可能か。選び方は「一人一人が選ぶ」か「学校全体の意見として」が良いか。

(小橋委員)

高学年(小学生)が選ぶことが可能であり、選び方は個人が選んだほうが参加した気持ちになる。

(金子委員)

①案がよい。

(刈谷委員)

民主的である。

(文化的施設)

選定委員で決めていくが、今回意見に出たことを参考にしたい。

5.その他

次回7月開催予定

-閉会-